

一般社団法人日本人間工学会第 75 回理事会 議事録

1. 開催日: 2025 年 3 月 3 日 (月) 17:00~19:06

2. 開催場所: オンライン Zoom による遠隔会議

3. 出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事): 鳥居塚崇(理事長), 中西美和(副理事長), 石橋圭太(若手支援), 井出有紀子(企業活動), 加藤麻樹(学術), 河合隆史(総務), 國澤尚子(表彰), 下村義弘(広報), 申紅仙(総務), 能登裕子(学術), 松崎一平(普及), 松田文子(広報), 村木里志(編集), 持丸正明(国際・戦略), ハ木佳子(国際), 横井元治(財務), 横山詔常(企業活動), 吉村健志(財務), 和田一成(普及)

[19 名]

(理事兼支部長): 小林大二(北海道・第 65 回大会), 高橋信(東北), 松田礼(関東), 横山清子(東海), 有馬正和(関西), 石原恵子(中国・四国), 小崎智照(九州・沖縄)

[7 名]

[計: 26 名]

(欠席者): 齋藤誠二(若手支援)

・監事: 赤松幹之, 白井伸之介

・オブザーバー: 榎原毅(認定機構・国際誌・第 66 回大会), 佐藤洋(JENC・標準化推進), 吉武良治(表彰)

・事務局: 西原彩, 米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 26 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後, 定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2026 年の第 67 回大会について(理事長)

鳥居塚理事長より, 2026 年の第 67 回大会について, 東海支部にて開催する旨の説明があり, 異議なく承認された。横山東海支部長より, 3 月末開催の東海支部役員会にて大会長, 大会会場, 実行委員長を決定する旨, 説明があった。

(2) 第 2 号議案 2025 年定時社員総会における各種表彰受賞者について(表彰委員会)

・功労賞, 人間工学グッドプラクティス賞, トップ 10% 査読者賞, 標準化貢献賞

吉武表彰委員長より, 功労賞 4 名, 人間工学グッドプラクティス賞 最優秀賞 1 件と優秀賞 2 件, トップ 10% 査読者賞 4 名, 標準化貢献賞 2 名の推薦があり, 異議なく承認された。

(3) 第 3 号議案 研究部会(ビッグデータ人間工学研究部会)の継続申請について(総務)

河合総務理事より, 今期で活動期間満了の 3 研究部会に継続を確認し, ビッグデータ人間工学研究部

会より継続申請書が提出された旨説明があり、継続が承認された。PIE 部会と科学コミュニケーション部会は活動を終了する。今後は、継続申請書内に継続要件を承諾している旨を明記する等、学術委員会と総務で検討する旨、鳥居塚理事長より補足があった。

(4) 第 4 号議案 投稿・査読管理システムの移行について(編集委員会)

村木編集委員長より、以前より報告・相談していた投稿・査読管理システムの移行について、システムの不具合により編集委員の手作業での対応が増えており、そのための改修料が高額であること、セキュリティを高めたいこと等、システムを移行したい理由(現在の問題点)について説明があった。

移行後のシステム Editorial Manager(アトラス社)について、他システムとの比較結果やセキュリティが向上すること、費用等の説明があり、審議の上承認された。早急に移行の手続きを進めることを確認した。最短スケジュールで、4 月に契約し、8 月から運用を開始する。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 河合総務理事が、第 74 回理事会議事録について報告した。

(1-2) 会勢報告

2025 年 1 月末現在、会員数 1,235 名(+20 名)、賛助会員 21 社 22 口(-1 社-1 口)。退会理由の集計結果について報告があり、学会誌の内容(企画やデザイン、学会活動の積極的な発信等)をより充実させることについて話し合いを行った。鳥居塚理事長より会員サービスの企画などあれば、積極的に意見を寄せて欲しい旨お願いがあった。

(1-3) メールによる審議等の結果 2 件について報告した。

(1-4) 協賛等の依頼 9 件について報告した。

(2) 財務報告 1 月度収支計算書

・年会費徴収に関する課題と提案

吉村財務理事より、1 月度収支計算書について概ね例年通りの旨報告があった。2025 年度より会費請求を従来の郵送からメールに変更することについて、メリットとデメリット対応策(納入率が下がらないようにモニタリングをして対応する等)の説明があった。学会員へは、4 月号学会誌と JES ニュースレターにて会費請求をメールに変更することの周知を行う。

今後の展望として、学会誌納入・徴収業務の効率化のため、会費納入システムを導入できるように検討を開始したく、他学会の情報などあれば共有して欲しい旨お願いがあった。

(3) 第 66 回大会(2025 年 5 月 21~23 日:北九州国際会議場)準備状況報告

榎原第 66 回大会長より、演題募集の申し込み締め切りを 3 月 14 日まで延長した旨、報告があった。現在約 150 名から参加申込があり、非会員の方が多い。一般演題申込、シンポジウムとも順調に申し込みが来ている。北九州空港からのアクセス(バス)や小倉のホテル状況等についても情報があった。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 広報委員会

松田委員長より、人間工学グッドプラクティス賞の受賞者にこれから発表依頼をし、第 66 回大会にてシンポジウムを開催する準備を進めている旨報告があった。

(4-2) 編集委員会

村木委員長より、学会誌発行状況、60周年企画(理事によるリサーチ・イシュー)の報告と今後の予定、査読委員を募集中であること、編集委員会ニュースレターを初めて発信した旨、報告があった。今後は会員以外への発信も検討していきたい。

これまで掲載したリーチ・イシューへのレスポンスを何か企画出来たらよいのでは、という意見があり、今後の課題としたい旨、村木編集委員長より回答があった。

(4-3) 国際協力委員会

持丸委員長より、IEA に関しては各国と問題を共有して動いていること、韓国・台湾の人間工学会と連携を取るための活動を継続している旨、報告があった。第 66 回大会で 3 か国の合同セッションを両国へ提案しており、各国の Societyとしてのイシューと未来について講演を行う予定。

(4-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、3 月 12 日に今年度最後の JENC 委員会を開催すること、日本提案の案件 SC5 についてキャンセルになったためリカバリー中であること、サービス人間工学の TC159WG 設立については結論が出ていないこと、その他多くの SR 案件に特に SC4 で対応中の、旨報告があった。

(4-5) 表彰委員会

報告はなし。

(4-6) 学術委員会

加藤委員長より、今後研究部会の活動を支援するためのガイドラインを作成したい旨、報告があった。他関連学会とも連携して取り組みを進め、学術会議のシンポジウムにも積極的に関わっていく予定。

(4-7) 人間工学専門家認定機構

榎原機構長より、2 月 15 日に大阪で開催した認定試験結果の報告があった。3 月 18 日に CPE サロン、4 月 18 日に機構講演会と総会を開催する。

(4-8) 若手支援委員会

石橋委員長より、5 月 21 日に若手向けイベント(ワークショップ)を開催する準備を進めている旨報告があった。

(4-9) 企業活動推進委員会

横山委員長より、来期は地域の中小企業の方に向けたセミナーを開催する準備を進めている旨、報告があった。約 5 地域をリレー形式で繋ぐことを考えている。

(4-10) 国際誌検討委員会

今回はなし。

(4-11) 普及委員会

松崎委員長より、3 月 6 日に第 1 回オンライン読書会を開催すること、第 66 回大会時に北九州工業高等専門学校とタイアップのワークショップを企画していること、大会休憩スペースに活動紹介のパネルを作ることを企画している旨、報告があった。

鳥居塚理事長より、対外的な活動も積極的に進めてもらいたい旨、お願いがあった。

(4-12) 戦略・将来構想委員会

持丸委員長より、行政の方に人間工学を知ってもらう活動に力を入れており、第 66 回大会で企画セッションを検討中の旨、報告があった。

(4-13) PSE 委員会

鳥居塚委員長より、PSE 委員会主導ではないが、第 66 回大会で関連する企画シンポジウムに関わっていききたい旨、報告があった。

(4-14) 利益相反・倫理委員会

鳥居塚副委員長より、委員会メンバーが概ね決まったので、次回理事会では有料セミナーにおける倫理

的なガイドラインと、利益相反に関する規程について、なんらかの形で進捗を提出したい旨、報告があった。

(4-15) 人間工学研究標準化推進委員会

今回はなし。

(5) プロジェクト報告

・ABW

事務局西原より、受託研究・プロジェクト規程に基づき、活動報告書の提出があったこと、2月に日本規格協会の確定検査を受け承認された旨、報告があった。

・AMED

榎原担当より、現在連携8学会でパブコメ募集をしており、当学会でもニュースレターやHPで呼びかけを行っているので、協力をお願いしたいと呼びかけがあった。3月6日に事業全体の報告会を開催する。

・厚労省科研

榎原担当より、第66回大会でのシンポジウム開催の準備を進めている旨、報告があった。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

小林支部長より、来年度の企画を支部で検討中の旨、報告があった。

(6-2) 東北支部

高橋支部長より、3月29日に開催する支部研究会の準備を進めている旨、報告があった。

(6-3) 関東支部

松田支部長より、3月4日に開催する見学会と講演会について、説明があった。

(6-4) 東海支部

横山支部長より、2026年の第67回大会を東海支部で開催するので、3月末の支部役員会にて、内容を審議する旨、説明があった。5月半ば～6月の土日在大学にて開催予定で、日程についての情報などあれば教えて欲しいとお願いがあった。

(6-5) 関西支部

有馬支部長より、2025年度関西支部大会を2025年12月13日(土)に開催する旨、説明があった。支部の評議員選挙を初めてオンラインで実施。今後、高校生向けのイベント開催を計画している。メールアドレスの登録を学会誌で呼びかけて欲しい旨、お願いがあった。

(6-6) 中国・四国支部

石原支部長より、2月24日にマツダ株式会社にて企業見学会を開催し参加者18名で好評だったこと、3月20日に第2回を開催する旨、報告があった。

(6-7) 九州・沖縄支部

小崎支部長より、九州・沖縄支部第46回大会を2025年11月29日(土)に開催する旨、説明があった。

(7) その他

7-1. 2025年定時社員総会資料作成に向けて【ご協力お願い】

河合総務理事より、必要な書類を期日までに提出するように協力依頼があった。

7-2. 今後の理事会日程について

河合総務理事より,次回第76回理事会は2025年4月末~5月前半,第77回理事会は2025年5月21日(水)16時~17時半で開催予定の旨,説明があった.

(8)閉会

以上の議事を終え,19時06分に閉会した.

上記の決議を明確にするため,代表理事,監事がこれに記名押印する.

2025年3月3日

代 表 理 事

監 事

監 事

鳥 居 塚 崇 ⑩

赤 松 幹 之 ⑩

臼 井 伸之介⑩